

# 2017夏休みフリー塾

子どもたちが地域の人と交流しながらのさまざまな体験を通して、自分が地域の中で一人の住人として認められ、活躍していると実感できる機会をつくりたい。また、学区内の2つの小学校の児童が交流できる場にもなってほしい。

そんな思いからこの事業では、①中学生・高校生ボランティアが企画の段階から関わり、自己肯定感をもつことができるようになること、②公民館クラブ受講生など地域の大人と子どもが共に活動することで顔見知りになること、③子ども自身が主体的に活動できるようになることをめざして開催しました。



卓球クラブの人と打ち合いが楽しかった



お姉さん見てて、上手に切れるよ



中学生のお兄さんよりカッコよくできたよ



Tシャツのデザインを考えたんだ



中学生がアイスの作り方を披露中！ドキドキ

## 小学生の感想

さいしょはドキドキしていたけど、つくっているうちにドキドキしたきもちはなくなって、どんなものがつくれるのか、わくわくしてきて、たのしくなってきました。またこんど、きてみたいです。(2年生)

初めての体験だったけど、自分で予想したり「なぜ」ということを知ったりすることはとても楽しいと分かった。(5年生)

中学生に教えてもらったり、友だちに教えてもらったりして、楽しかった。たくさんの材料をもとに、風船にいろいろななかざりをつけて自分だけのものになりました。大切にしたいです。(5年生)



おもてなしって、お互いを思いやることなんだね

## 中高生と大人の感想

年齢は違いますが、人との関わり方を学べました。(中学生)

ちゃんと説明ができて、実験が成功した時の小学生の笑顔が見られ

てよかった。(中学生)

初めてボランティアをして、良かったことも困ったこともあったけど、楽しく参加することができました。(中学生)

久しぶりに小学生と交流できて元気をもらいました。(大人)

子どもたちの発想のよさに驚きました。(大人)

「ちちとこくらぶ」は、「子ども」と「お父さん」がおもいきり遊べる場★  
 仕事を持つお父さんたちは、普段なかなか子どもたちと交流する機会がないよう  
 ですが、「ちちとこくらぶ」の日はおもいきり遊べます。参加しているお父さんの表  
 情はとても生き生きしているんですよ(^U^)♪毎月、スタッフの各回リーダーが  
 中心となって、掲示板や打ち合わせを重ね、企画・運営しています。  
 子どもたちもその顔を見て喜び楽しくなる、といううれしい循環が起きている。  
 また、お父さんが地域の人たちとつながる機会が持てるのも魅力のひとつ★  
 ここで仲間になったお父さんたちが、年を取っても地域で協力し合っているとい  
 いなと思います。

## 川遊び



カヌーや、手作りのすべり台で川遊び！

## 球技大会



中国学園大学の体育館を借りて球技大会！  
 学生ボラさんも大勢参加しています。

## クッキング対決！



チームごとに工夫をこらしてハンバーグ  
 ソースとポップコーンの味付けで勝負！

## いろいろなお仕事体験！



スタッフお父さん方の力が集結！  
 ロボット、工事、医療、ゲーム作りのお仕事  
 を体験しました。

他にも、サイクリング、海釣り、キャンプ、オリ  
 ンピック、小学校で「逃走中」ほか…オフシ  
 ュン企画や懇親会、地域のお祭りに参加したり  
 など…♪

## ちちとこくらぶ参加者の声

「お父さん」も楽しみながら、子どもとおもいきり遊べる。  
 夫婦で「ちちとこくらぶ」の遊びのアイデアを出し合って会話が弾むようになった。  
 「ちちとこくらぶ」の間は、お母さんも少し息抜きができる。  
 会社以外で、いろいろ相談できる仲間ができた。飲み会もやっている。  
 地域には、子育てを応援したい人がたくさんいることを知った。  
 世代の異なる方も協力してくださり、交流ができる。

◆ねらい（解決したい地域課題）

- ・子どもが同世代の保護者や世代の異なる婦人会や栄養委員と一緒に調理を行うことで、各自の子育てを見つめると共に、食育の大切さを親同士で確認し合う。
- ・妹尾学区栄養改善協議会、妹尾学区婦人会会員を中心とした地域の先輩お母さんたちの力を借りて、思春期の子育て支援や不安の解消を行う。また、子育ての問題で悩んでいる人が先輩の母親の姿を見たり、話を聞いたりすることで、少しでも不安を解消したり、未来に希望が持てるようなきっかけづくりを行い、心身ともにリフレッシュできる場とする。
- ・子どもが小学校を卒業すると保護者同士の繋がりも弱くなると言われる。思春期の子育ての問題に直面した人たちが、地域の中で孤立することを防ぐ場の一つとする。

◆活動の様子

年間3回程度実施。1回は、仕事をしている保護者にも参加してほしいという願いから、夜に子育て座談会を、2回はテーマを設けた調理実習と作った料理をみんなで囲んで子育て座談会を実施しています。講座の打合せには、婦人会・栄養改善協議会・中学校PTA・公民館職員の4者が集まり、充実した内容となるよう工夫を凝らしています。



調理実習が主たる目的ではなく、あくまで参加者同士の交流・座談会の“アイスブレイク”の位置づけで実施。

先輩お母さんから簡単でおいしい出汁の取り方を教えてもらったり、中学生のお母さんが先輩お母さんに電子レンジの裏ワザを教えたり…日常的に台所に立つ機会の多い人たち共通の話題は多く、初めて会った人ともすぐに打ち解けられます。



グループごとにテーマに沿って座談会を実施。グループでの進行や記録役は中学生の保護者の皆さんが積極的に行います。

子どもが勉強しない、人間関係で悩んでいる、自分がイライラしてすぐ怒鳴りつけてしまう…悩みも問題は人それぞれ。けれど、同じ中学に通う子どもの保護者同士が共感したり、先輩お母さんが「私はこうやって乗り越えた」という経験を話すことで、心の中のモヤモヤが少しずつ晴れていきます。

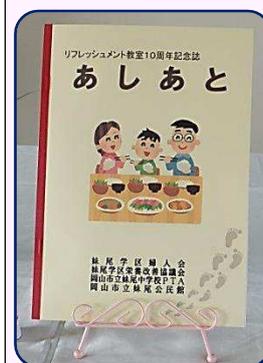
◆効果（参加者の声等）

【中学生の保護者】

- ・自分ばかりが悩んでいるのかと思っていたが、他の人も同じようなことで悩んでいたのかと思うと、少し気が楽になった。
- ・自分の親よりも更に上の人とざっくばらんに話ができてよかった。結局時代が変わっても、母親の愛情は変わらないものだと感じた。
- ・自分には悩ましいことだと思っていたことが、他の人に「いい機会じゃない」と言われたことが、目からウロコ体験だった。

【先輩お母さん】

- ・先日、近所のスーパーで「教室で同じ班でしたよね？」と声をかけてもらえ嬉しかった。名前を憶えておらず悪かったけれど。
- ・自分の子どもより若い人たちと話をすることで、自分自身に新たな気づきがあったし、こちら元気をもらっている。笑って帰るお母さん達の姿が印象的だった。



平成28年には講座10周年を記念して、これまでの活動記録と実習したレシピ・参加者の感想をまとめた冊子を作成。

単に作成するだけではなく、座談会で当時の参加者の心の変化を読み取る時間も設けます。

もちろん、レシピ集としても大活躍。普段は挑戦しないような食材の組み合わせを楽しんだり、もう一品欲しい時の強い味方です。

# 大元公民館 子ども囲碁クラブ ●○

## 概要(5つのポイント)

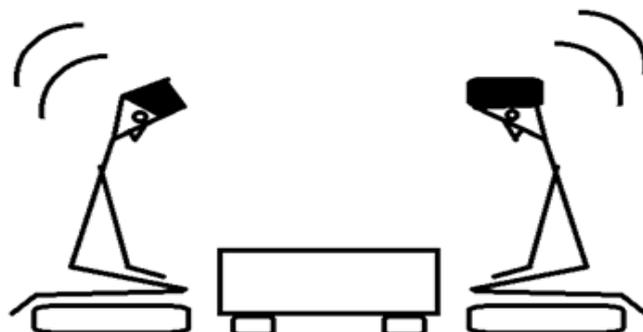
- 1 初中級・入門の2クラス編成です。
- 2 初期教育機能を入門クラスが担っています。
- 3 文化祭でトーナメント形式で対局します。
- 4 囲碁同好会大元のメンバーが講師です。
- 5 毎月2回第一・第三土曜日に開講しています。

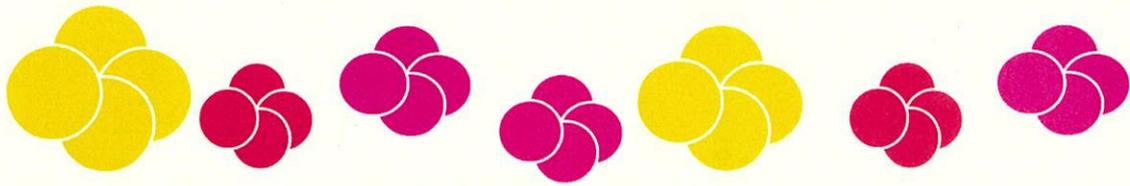
## 目的(5つのポイント)

- 1 子どもの思考力を高める
- 2 囲碁の習得
- 3 礼儀を身につけさせる
- 4 学校を越えた友だちづくり
- 5 地域の大人との交流

## 効果(3つのポイント)

- 1 受講児童OBが、囲碁の道に進んでいる実例あり。
- 2 活発で落ち着かない児童も一緒に礼をしている。
- 3 対局を通じた交流がある。





実践報告（別紙2）倉敷市真備公民館

# 干支のほいで面 & 土人形 絵付け体験講座実践報告

## ○この講座の狙い

十二支は中国から伝わったもので、日本では、干支の絵や置物を家に飾り、家内安全を祈願する風習がある。白地の面や土人形を自分で絵付けし、世界でひとつだけの物を製作する喜びを味わう。

## ○活動の状況

当公民館では、その土人形を自分で絵付けして、自分だけの干支の置物を作る支援をしている。こどもたちから大人まで参加し、自由に色づけして、楽しんでいる。



戌年

## ○効果

いろいろな人が参加するため、地域交流が盛んになっている。古来の文化も継承され、有意義な講座と考える。単発講座であるが、根強い人気があるため、十二支が一回りするまで、継続する予定である。



◆ねらい (解決したい地域課題)

当地区は小学生が80人あまりであり、そのうち3/4が余儀なくバス通学をしています。学校に行けば学業・スポーツを頑張っておりますが、学校から帰るのも1便2便バスで帰宅する状況で、縦のつながり、又授業終了後10分20分教員が教えてあげたくてもバスの時間上、そういった時間が取れない。そしてまた、学校から帰っても、自宅でゲームの時間が大半で、皆が集う場がない。そういった中、長期休み期間中だけでも元教員の指導あるいは地元の学生さん等にも来館してもらいし教えてもらい、仲間と一緒に教え合う中で交流もはかり、上下関係、繋がり、自分のわからない部分を理解し学力もあげる。



たまには、昼に座って勉強!

勉強会後の食事会



皿まわしに挑戦、奮闘中!

◆効果 (参加者・保護者の声)

『ここはどうするん?』、『わかった!出来たで!』、等の子供たちの声、声。中学生たちも先生気分満悦顔。保護者の方も、今日何をしてきたの?と自宅での会話もでき自慢して答える児童も居たとか。

勉強会、お遊び、交通安全サミット、食事会を通じて地元の先生方、地域の方たち、児童達との交流が図れた。今後も続けてもらいたいとの、保護者の声。子供達に聞くと、殆どの子が来る、来るけん。と。様々な方のお力を借り、良い会が出来たと感じました。

津山署による普段の行動の注意に耳を傾け、意見交換。自分の意見もしっかり言えていた。





# 大崎ゆりかご会

## ★ねらい

幼稚園、保育園、他地区の親子クラブとの交流、体験学習、出張保育、収穫体験、親子クッキング等様々な行事を計画して子どもたちと一緒に楽しむ。

子育ての不安や悩みを相談したり、親同士、子ども同士の交流を図る。

はちみつパーティー♪  
保育園・幼稚園と交流したよ

いもほり♪  
「公民館の目の前の畑でいもほりができ  
小さい子も参加しやすかった。」  
「ふかしいもがおいしかった～」



出張保育♪  
「毎回先生が手遊び、  
読み聞かせ、ダンスなど  
楽しい出し物を用意してく  
れて、しっかり体を動かして  
親子で楽しんでいます。」



## 親子クッキング♪

「普段なかなか手作りではおやつは作ってなかったので、どれも簡単に美味しく作れてとても参考になりました。家でもまた作ってあげたいと思います。」

「自宅で手作りおやつはなかなか機会がなかったので良いきっかけになった。メニューをアレンジして家でも何度か作り子どもたちに喜ばれた。」

英語で遊ぼう♪  
バーバラ先生と遊んだよ



## ★効果

「ゆりかご会に入ってから他のお母さんはもちろん、愛育委員さんなど地域の方と触れ合うことができ、楽しく活動できています。いもほりや英語体験などいろんな経験ができて、子どもたちも喜んでくれています。」

毎月2回公民館を拠点に活動し、会員同士、子ども同士の親睦を深めています。地域の方も活動をサポートして下さり、子どもたちの成長を見守っています。ゆりかご会の活動を通じ、公民館を利用する機会が増え、地域行事にも積極的に参加してもらえたらと思います。

# 赤磐市立中央公民館

## 子育て講座

### ◆ねらい(解決したい地域課題)

公民館の東西には、大型団地があるが、特に人口の集中と過疎の両極化が進んでいる。また、少子化や核家族化、女性の社会進出等で益々子ども同士のかかわる機会の減少、親の子育ての孤立化、育児不安、発達障がいの子どもの支援等多くの課題を抱えている。本講座を長期講座(15回)にすることで子育て世代と孫育世代が共に心の発達や人間関係づくり等について学びながら実践力を高め、合わせて世代間交流を図ることで赤磐市が子育てにやさしいまちとなり、地域ぐるみで子どもを守り育てる環境への充実、さらに、子育て世代や孫育世代がつながり、豊かな人間関係づくりを目指したいと考えている。

### ◆活動の様子



▲グループカウンセリング風景



「子どもの心はどのように成長していくのかな？」  
「いやなことがあったとき  
何で発散するかな？」



受講者の子どもたちは、公民館託児ボランティアがお世話してくれるので安心して講座に参加できます。



▲グループワーク(子育て課題をみんなで解決しよう)  
「お手伝いをできるようにしよう」の発表風景

子どもの目標が達成できたら「ごほうびにポイントシールを貼る」「家族からの感謝の言葉を伝える」「できたところを動画にして家族に観せ、家族から誉めてもらう」などすばらしいアイデアが出されました。

講座終了後は、個別カウンセリング

H28年度より「子育て講座」受講者有志が、公民館グループ「mama's サークル」を立ち上げる。座談会(井戸端会議)形式でアットホームな(話しやすい雰囲気づくりを心がけた)運営を行っている。

### ◆効果

#### 【参加者の声等】

- ・目からうろこの講座です。この講座を受けて考え方や受け取り方が変わりました。
- ・友達もたくさんできました。子どもを持った親同士、話の輪が広がります。
- ・子どもに対して以前より向き合えるようになりました。イライラ、ストレスが減ってきました。
- ・叱責が減り、誉めること、相手の話になづきやオウム返し、共感することなど学んだことが少しずつできるようになってきました。

## 実践報告

### 長船町公民館

## うさぎの学校の事業報告

平成29年度では、23名の年齢の異なる子どもたちが、歌を歌ったり、体操したり、絵本を見たり、いろいろな遊びを通じて、親子、保護者同志がふれあえる時間を持つことができました。

本年度では幼稚園の未就園児園庭開放や保育園行事と重なり、目標の参加人数に届かなかったことは大変残念でした。

### 7月 みんなでアロハ！ 南の島ごっこをしよう 水遊びをしよう



自分だけの冠を作って、それをかぶって気分は南の島の王様、みんなで楽しくフラダンスを踊ったり、外にプールを設置して、水遊びでみんなはしゃいで楽しい時間でした。

### 10月 ちびっこ運動会



かけっこ、玉入れ、親子でヨガ、障害物競争の競技に親子で楽しく遊びました。

### 平成29年度開催日程

4月	新聞で遊ぼう	9月	作って走らせよう！マイカーでおでかけ
5月	魔法の呪文で ほら粘土！	10月	ちびっこ運動会をしよう！
6月	ちぎって貼ってかたつむり！	11月	うさぎの秋祭り
7月	みんなでアロハ！南の島ごっこをしよう 水遊びをしよう	12月	お楽しみ会をしよう

♥ うさぎカフェ ……5月、11月の2回のうさぎカフェでお茶を飲みながら育児についての悩みや情報交換をして、親同士の交流を深めています。

# ハンドメイド教室

## <ねらい>

円城は、高齢者の多い地区で児童や若年者の講座がありませんでした。近くに手芸をされる方との出会いがあり、異世代間の交流や、また、公民館を身近に感じていただきたいとの思いから、『ハンドメイド教室』を開きました。



がま口ポーチ

ペットボトルケース



親子で  
仲良く♡



参加者同士でも  
教え合って



久々にミシンを使われる方も。  
真剣です！



ポーチにする布に、スタンプで柄を描いています。どんな柄にしようかな？



100円ショップの手拭いが  
あずま袋になりました。



公民館まつりなどで、1年間に制作した  
作品を展示しています。

## <効果>

公民館に来たことがない方や、町外の方にも参加していただいています。作業後は、作品を皆で見せ合いながら、楽しく会話をしたり、今後作ってみたい作品の話で盛り上がります。

## <課題>

講座を始めて3年になります。回を重ねるごとに難しい作品を作りたい方も出てきました。現在はミシンを使って作品を作る講座と、針などをあまり使わずに子供でも気軽に参加できる講座を交互に行っています。